

第2回国際ホソカワ粉体工学シンポジウムを米国で開催 2nd Hosokawa Powder Technology Symposium held in the United States

【Date】 Wednesday, October 4, 2017.

【Venue】 Hosokawa Micron Powder Systems, Summit, NJ, USA

【Theme】 “Challenges & Opportunities in Particle Characterization & Processing”

当財団の設立25周年記念特別事業の一環として、第2回国際ホソカワ粉体工学シンポジウム（2nd Hosokawa Powder Technology Symposium）が、平成29年10月4日（水）に、米国のニュージャージー州サミットにあるホソカワミクロンパウダーシステムズ（HMPS）のテストセンターで開催されました。本シンポジウムは当財団が主催する2回目の海外でのシンポジウムで、開催に当たってはホソカワミクロン（HMC）とHMPSの後援を得ました。

今回のシンポジウムは、「粉粒体の特性評価とプロセスにおける挑戦と展開の可能性」をテーマとして、細川理事長の開会挨拶の後、4件の講演が行われました。講演の内容は、粉粒体技術とナノバイオ工学との関わりから始まり、高効率化を目指した固体微粒化技術、ならびに粒子形状の重要性と評価方法に関するものが続き、その後、粉粒体技術の応用として吸入製剤への展開について紹介されました。そして最後にHMPSのVoorhees社

長の閉会挨拶で終了しました。今回のシンポジウムには、米国近隣国を含め、大学ならびに企業から全体で100名近くの参加がありました。同会場では、当財団の活動を参加者に知ってもらうために、パネル展示を行い、その歴史や主な事業内容について紹介を行うとともに、KONA Powder and Particle Journalの最新号を展示し配布しました。

本シンポジウムでは、HMPS社のテストセンターの機器を周辺に寄せてパーティーションで囲い、中央部分に講演会場のスペースを確保する配置が工夫されました。講演は10時からでしたが、講演会場の隣のホールに軽食が用意され、立食ながら開催前の朝食と昼休み時間のランチが取れるように準備がされ、そのスペースには粉体処理機械ならびに特性評価装置が展示されており、実際の機械を見ながらの討議も活発に行われました。

【公益財団法人ホソカワ粉体工学振興財団事務局記】



講演風景



講師ならびに開催関係者